

図書館だより

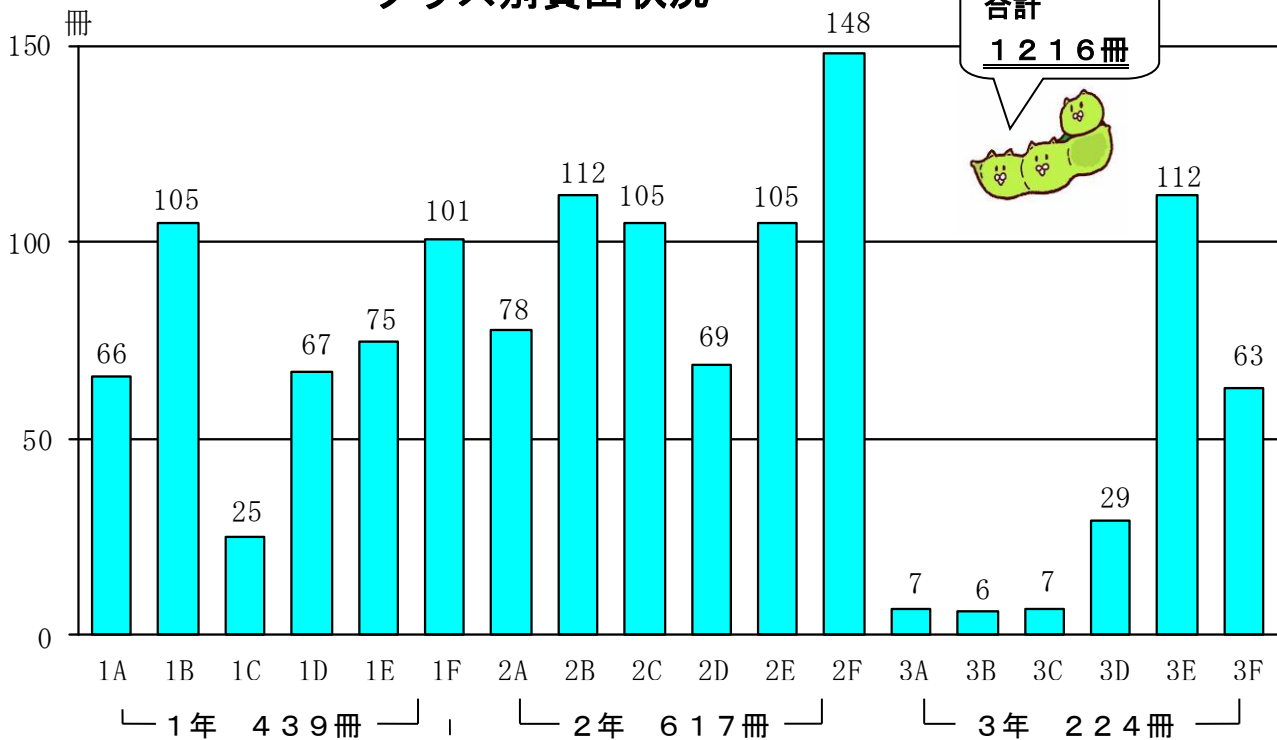
2020. 8. 26

担当 学校司書



図書館利用状況 (4月1日~7月31日)

クラス別貸出状況



個人別貸出ランキング

1位	2F	T. K	38冊
2位	3E	Y. T	35冊
3位	1B	F. E	29冊
4位	1B	M. K	23冊
5位	1E	K. M	22冊
6位	1F	K. K	20冊
"	2B	T. Y	20冊
"	2C	K. H	20冊
9位	1F	K. R	19冊
"	3E	K. K	19冊
"	3E	M. K	19冊

『嫌われる勇気』(岸見一郎)
『ライオンのおやつ』(小川糸)
が同率で貸出数 No. 1 でした。



3年連続!

図書館報 優秀賞受賞!

3月に発行した図書館報「心星(ポラリス)第4号」が、秋田県図書館報コンクールで優秀賞を受賞しました。20校から応募があった中から、最優秀賞につぐ2番目の評価を得ました。

「文豪の作品に触れる特集を一面に配置し、興味関心を引く構成になっている。本の魅力、委員会活動など内容的にも盛りだくさんで、読書意欲を高めたという思いが紙面から伝わる。」という講評をいただきました。企画に協力してくださった先生方、原稿をお寄せくださった先生方、ありがとうございました。

3年連続優秀賞なので、次是最優秀賞を狙い、委員会活動をさらに盛り上げていきたいと思っております。

夏休みの図書委員会活動



「星空★図書館」ボランティア参加（7月24日、25日）

昨年に続き、栗盛記念図書館が主催する「星空★図書館」に参加しました。今年は、密を避けるために会場を比内総合支所に移して行いました。受付での検温や会場への誘導をお手伝いし、子どもたちが星のオリジナルグッズを作るのをサポートしました。

プロジェクションマッピングで天井に投影された星空を観察した後、星や宇宙を題材にした絵本の読み聞かせをしました。



↑星のオリジナルグッズ作りをサポート



→星や宇宙にまつわる絵本を読み聞かせる

新着図書より 図書委員のおすすめ



「金柵国春秋」シリーズ（1～7） 篠原悠希 著

皇帝の死により下された一族殉死という運命から逃れる少年星遊圭。逃亡中の窮地を救ってくれた平民の少女明々とともに、男子禁制である女の園、後宮へ向かう。病弱だった少年が、皇后である叔母と子どもを陰謀渦巻く後宮から守るために身を削って戦う姿、ともに命を懸ける明々との関係性の変化に目が離せません。家族の平穏と一族再興の目標に向かって奮闘する少年の姿も見どころです。

（3 E M. K）

その他の新着図書

『勿忘草の咲く町で 安曇野診療記』 夏川草介 著

「高齢者医療」の現在——命の尊厳とは何か？ 答えのない問いに必死で向き合う若き研修医と看護師の奮闘を、『神様のカルテ』の著者が描いた感涙の連作短編集。

『タスキメシ 箱根』 額賀滯 著

弱小チームのコーチアシスタント兼管理栄養士として、部員たちと箱根駅伝出場を目指す主人公。エリートではない若者たちの夢や苦悩が、箱根路を駆け抜ける。

『猫君 NEKOGIMI』 畠中恵 著

二十年生きた猫は、人に化けて言葉を操る「猫又」になる——。新米猫又みかんが様々な試練に挑む大冒険。お江戸ファンタジーの開幕！

『カケラ』 湊かなえ 著

「美容整形」をテーマに、外見にまつわる固定観念や、人の幸せのありかたを見つめる、心理ミステリ長編。

『あつあつを召し上がれ』 小川糸 著

ときにはほろ苦く、ときには甘く、身も心も温めてくれる、食卓をめぐる7つの感動の物語。

